

「優秀なスタッフ」は 資産か、 それとも負債か？

第1話：オーナーが陥る「私が育てた」という甘い罠



「うちには優秀なスタッフがいるから安心だ」

多くのオーナー様はそう思っています。

彼らは言わなくても動く。

常に100点の仕事をしてくれる。





優秀なスタッフがいることは幸運です。
しかし、もし彼らを「ハンドリング（制御）」できていないなら、
店は崩壊の一手手前にあります。

便利さという「麻薬」

仕事ができるスタッフは便利です。

この「便利さ」が、オーナーの目を曇らせます。

彼らの高いパフォーマンスを前に、オーナーは致命的な勘違いを始めます。



経営者の「自惚れ」

“「彼らが動くのは、
私が育てたからだ」”

“「私がいなくても
回る仕組みを
作ったからだ」”



そう思いたいんですよね？
でも、それは違います。

あなたは「タダ乗り」しているだけ

幻想

彼らが優秀で、勝手に回してくれているだけ。

あなたは経営をしているのではありません。彼らの能力に依存し、タダ乗りしているだけなのです。

この自惚れが、ハンドリングを放棄させます。



依存のツケは、必ず払わされる



個人の「100点」に依存した店は脆い。
彼らが辞めたら？ 彼らが反乱を起こしたら？
ハンドリングできない組織は、負債そのものです。

Staff 100%

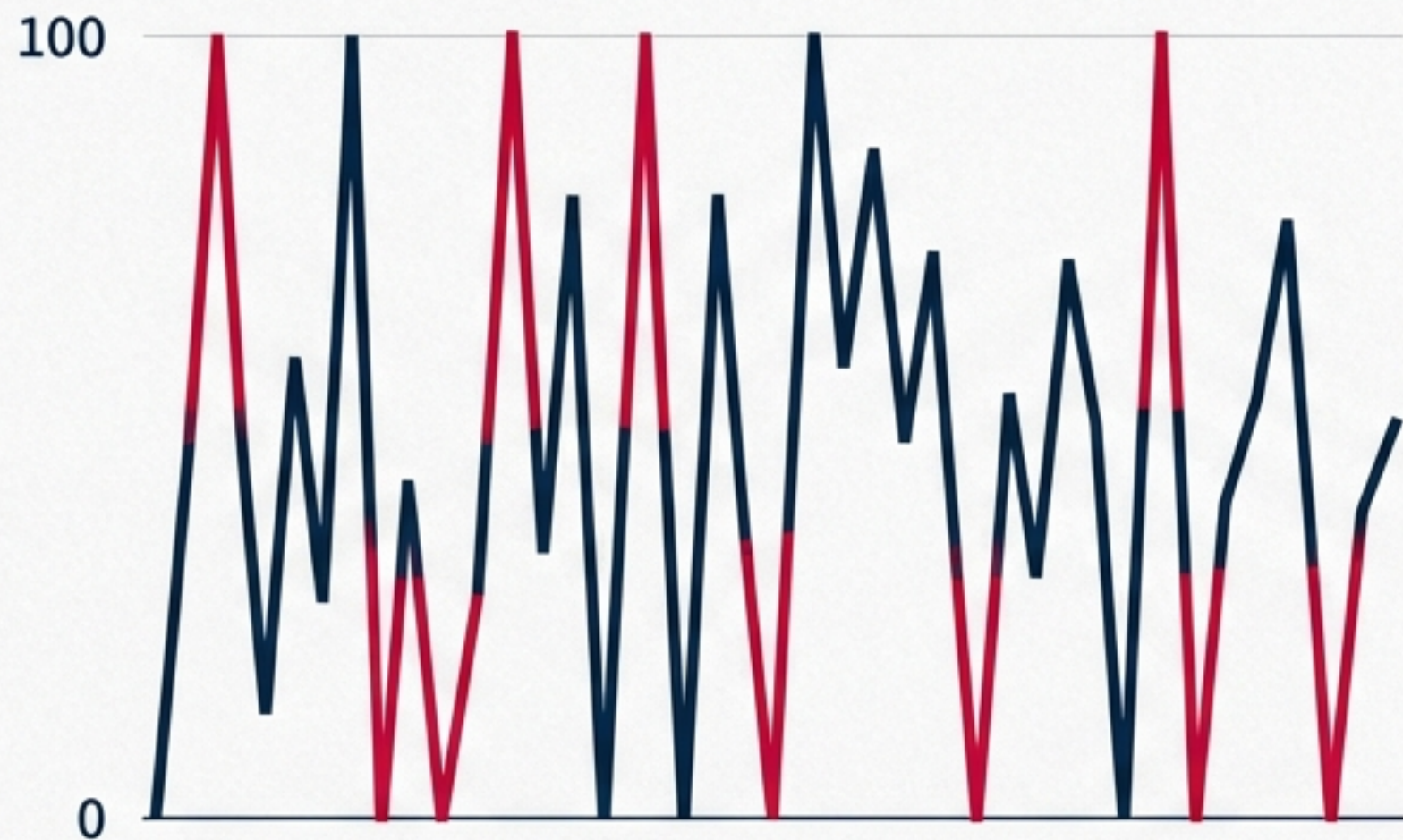
決断：「100点はいらない」

~~100~~ 70

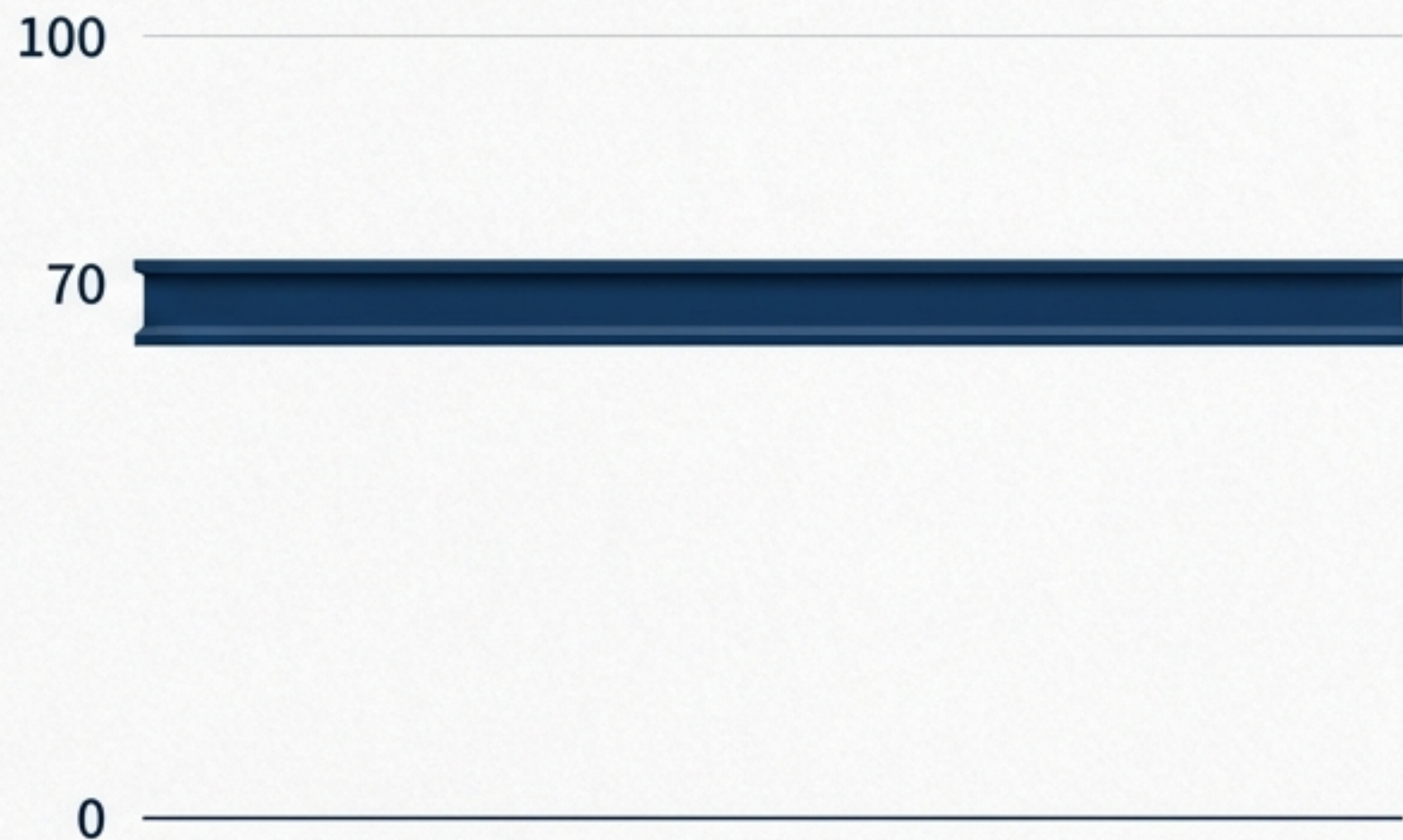
**私は決めました。
誰でもできる「70点」でいい。**

奇跡ではなく、仕組みで回す

特定の個人の能力（100点）



仕組みで店を回す（再現可能な70点）



True Management is about reproducibility.

次回のテーマ：なぜ「危険なスタッフ」が生まれるのか？

実は、その裏には
本部（チェーン本部や経営指導）
の巧妙な仕掛けがあります。

「第2話」へ続く。



動画では語りきれない「ディープな経営ノウハウ」

続きや詳細は、オフィシャルHP、またはNote「社長の着想日誌」へ。



<http://fkt-office.com/>

有限会社 吹田総業

現場のリアルを、包み隠さず

「データはAI、決断は社長。」



有限会社 吹田総業
代表 フキタ カツミ